



AETO & AEP2

Asian and Middle Eastern Studies, Part IA and Preliminary Examination
for Part II

Tuesday 4 June 2019 13.30 – 16.30

Paper J3

Modern Japanese texts 1

Answer all questions.

Write your number not your name on the cover sheet of each answer booklet.

STATIONERY REQUIREMENTS

20 page answer booklet

Rough Work Pad

SPECIAL REQUIREMENTS TO BE SUPPLIED FOR THIS EXAMINATION

None

You may not start to read the questions printed on the subsequent pages of this question paper until instructed to do so.

Section A

(1) Translate the following passage from a **seen** text into English: [20 marks]

戦争は恐ろしいもので、一度始まつてしまふと止められません。

第二次世界大戦のとき、国民は国の権力者の言うことに従わなければなりませんでした。若い人も学徒動員という形でどんどん兵隊になりました。

戦況が悪くなると、死ぬことが百パーセントわかっているのに、自分が爆弾といっしょに突つこんでいくという悲惨なことが起こりました。これが特攻です。

一般の人も空襲でたくさん亡くなつたし、原爆が落とされた広島・長崎はこれ以上ないほどにひどい目にあい、たくさんの犠牲者が出来ました。

どんなことをしても、戦争はくり返さないようにした
い。

Question 1 continues...

広島には「過ちは繰返しませぬから」という平和の碑があつて、戦争を二度とくり返したくないという平和への思いがぎざまれています。

第九条は世界的にもめずらしいもので、戦争でさんざんな目にあつた日本を平和な国にしていきたいという、日本人の心をあらわしたもののです。

そして、第九条は大日本帝国憲法から大きく変わった条文の一つでもあります。

日本が満州事変・日中戦争・太平洋戦争と十五年間してきた戦争が昭和二十年八月に終わったとき、もう二度と戦争を起こしてはいけない、と国民も強く思つたし、日本と戦つたアメリカやそのほかの国も、日本という国を武力の強い軍隊の国にすると危ないと考えました。そんな二度と戦争をしない国にしたい、という思いから、この第九条が作られたのです。

SAITO TAKASHI: *Koe ni dashite yomitai shō-chūgakusei ni mo wakaru Nihon kenpō* (2015), pp. 26-27.

(TURN OVER)

Page 3 of 11

(2) Translate the following passage from a **seen** text into **English**: [20 marks]

條約改正をめざして 日本の産業發展^{はってん}の道のりは、
平たんなものではありませんでした。

江戸時代^{えど}の終わりに幕府^{ばくふ}が欧米諸国^{おうべいしょこく}と結んだ
「修好通商条約」は、日本にとってたいへん不利
な内容でした。 5

条約では、外国からの輸入品にかける税金を自
由に決める権利^{けんり}(関税自主権^{かんぜいじしゅけん})が認められていなか
ったために、外国の安い品物が次々に国内に入り、
日本の産業は大きな打撃^{だげき}を受けました。日本の綿
織物は、外国製品のためにあまり売れなくなつた 10
のです。また、外国人が日本国内で罪をおかして
も、日本の法律ではさばくことができないものと
されていました(領事裁判権^{りょうじさいばんけん})。

Question 2 continues...

日本の産業を発展させるためには、この不平等条約を改正することが必要でした。明治の初めのころから使節を送るなど、何度も諸外国との交渉を行いましたが、日本の近代化のおくれなどを理由に、**条約改正**はなかなか進みませんでした。

そのような折、外務大臣の陸奥宗光は、そのころ最も力の強かったイギリスを相手に交渉を行い、ついに1894年、条約の一部を改正して領事裁判権をなくすことに成功しました。イギリスとの条約改正に成功した背景には、このころアジアでロシアと対立していたイギリスが、日本の協力を求めていたという事情もありました。

しかし、外国からの輸入品に 自由に關税をかけることができないという取り決めは、まだ残されたままでした。

ARITA KAZUMASA (ed.): *Shōgaku shakai* 6/1 (2015), pp. 116-117.

(TURN OVER)

(3) Translate the following passage from a **seen** text into English: [20 marks]

閻魔様のばそこん

奥泉明日香

閻魔様は、ひたすらイラついていました。目の前にある機械仕掛けの箱が、ちつとも思い通りに動かないからです。

最近、地獄も地上に遅れてやつと「あいてい化」なるものをし、閻魔様は「ばそこん」と呼ばれる機械で仕事をすることになりました。

ところがこれが、ちつとも役に立たないのです。

閻魔様にとつては「きーぼーど」なるものを叩くより、以前のように閻魔帳をつかって手書きで死者の管理をしていた方がずっと効率が良いのですが、部下の子鬼達は、すらすらと「ばそこん」を使って、「こっちの方が便利ですよ」と閻魔様にも勧めるのでした。

子鬼達はすっかり「ばそこん」の操作方法を習得したようで、閻魔様にも教えてくれるのでですが、閻魔様はまず、子鬼達の言っていることがさっぱりわからず、どこか

Question 3 continued...

違う宗教の言葉に聞こえるのです。

「そこを『こびー』して『ペーすと』つすよ、閻魔様」とは何のことでしょうか。新しい儀式でもするというのでしょうか。

しかし上司である釈迦如来様が、地獄も含め冥界全体の「あいてい化」を推し進めているので、閻魔様は嫌でも従わなくてはなりませんでした。

OKUIZUMI ASUKA: ‘Enma sama no pasokon’, in Atoda Takashi (ed.): *Shōto shōto no hanataba*, vol. 7, (2015), pp. 161-162.

(TURN OVER)

Page 7 of 11

Section B

(4) Translate the following passage from an **unseen** text into English: [40 marks]

捨てられない

長谷川樹里

結婚を機に十年余り独り暮らしをしていたマンションを引き払うこととなつた。新居は彼の勤め先の官舎なので、不必要的荷物は極力処分しなければならない。

とても気に入つて買った筈なのに一度も着なかつたワンピース、昔の彼氏から貰つたバッグ、独り暮らしには随分と大きすぎる大型冷蔵庫、深夜の通販番組で衝動買いをしてしまつて一度だけ使つた掃除道具など、十年もの間にこんなにも色々な物が溜つていた事に少々驚く。私が生きてきた証……というと少し大げさだろうか。

そして、「それ」はクローゼットの一番奥にあつた。

両手に載る程の小さな段ボール箱で、大きさの割にはずつしり重い。奇妙なことに、何重にもガムテープを巻きつけられている。まるで何かを封印しているかのように。

私の物だろうか。しかし、まるで記憶にない。歴代彼氏の誰かの忘れ物だろうか。

Question 4 continues...

それとも、私が住み始める前からクローゼットの中にひつそり置いてあつたのだろうか。

とりあえず中身を見れば見当がつくだろう。

ガムテープを剥^はがし始めると、うまく言葉にできないが、無性に嫌な感情が心の中に湧いてきた。しかし箱の中身が知りたいという好奇心のほうが勝り、私は手を止める事ができなかつた。

ガムテープを全て取り去り、段ボールの蓋を左右に開くと、写真と手紙、日記帳が入つていた。

ああ。

私は思わず目を閉じた。温かい涙が頬^{ほお}を伝う。

箱を開けた途端、「彼」に関する記憶が次々と蘇^{よみがえ}る。出会った日の事、ふたりで並んで撮つた写真、バッグをプレゼントしてくれた誕生日、遠距離恋愛になつてから何通も交わした手紙、この部屋で決別を告げられた日の事など、全てをすっかり忘れていたのだ。

文字通り、「彼」に関する記憶を全てこの箱に封印していた。

写真、手紙、日記帳を順番に取り出してゆくと、一番底に錆びついた包丁^さが残された

(TURN OVER)

Question 4 continues...

た。黒っぽい汚れもこびりついている。

決別のあの日、彼からの一方的な別れ話を受け入れられず、激高した私は彼の胸を刺してしまった。どうしても彼と離れたくなくて、彼の身体は、業務用大型冷蔵庫の中で今も眠っている。

秘密を全て解放し、今やただの空き箱となってしまった「それ」を呆然と眺めながら、私は「彼」を処分するのか、それとも結婚をキャンセルするか、本気で悩み始めた。

HASEGAWA KISATO:
'Suterarenai', in Atoda Takashi
(ed.): *Shōto shōto no hanataba*, vol. 6 (2014), pp.
229-231.

Vocabulary (question 4)

を機に=taking advantage of	中身= content
余り = in excess of	剥がす= remove
独暮らし=一人で住むこと	無性に= irresistibly
引き払う= 出る	嫌=いや
新居=新しい家	湧く = to gush up
勤め先=place of employment	好奇心= curiosity
官舎=official residence	取り去る= remove
極力=できるだけ	蓋=lid
処分= 捨てる	涙=なみだ
昔=むかし	頬=cheek
随分と=ずいぶんと	伝う=to run down
大型=大きなサイズ	開けた途端=開けてすぐに
冷蔵庫=れいぞうこ	蘇る= to come back
通販番組= telephone shopping programme	撮った=とった
衝動買いをする=to buy st impulsively	遠距離= long distance
掃除=そうじ	決別= separation
溜まる=たまる	告げる= to announce
驚く=to be surprised	底= bottom
証= proof	錆びる= to rust
大げさ=exaggeration	庖丁= knife
奥= back	こびりつく =to stick
段ボール=cardboard	激高する= to react violently
箱=はこ	胸= chest
の割に=despite	刺す= to stab
ずっしりと重い= heavy as lead	離れる=to part
奇妙=strange	業務用= for business use
何重にも=many layers	眠る=ねむる
巻きつける=to twist around	秘密= secret
封印する= to seal	解放する= to reveal
記憶=きおく	呆然と= absentmindedly
ひっそり= discreetly	眺める=ながめる
とりあえず=as a first step	悩む= to worry

END OF PAPER

Page 11 of 11